

私たちに
できること

筑後川を流域の人たちと 協力して守っていきましょう

企業団では構成団体・都市圏住民とともに、流域の方々と連携・協力して、森林保全や環境保全に取り組んでいます。また、流域との交流事業にも参加しています。

森林保全

森林の保水機能を高めるために、植林活動、下草刈り、間伐をして、豊かな森づくりを支援しています。



市民参加の森づくり・植樹(日田市)



千年の森・下草刈り(玖珠町)

環境保全

筑後川流域や有明海の環境を守るため、清掃活動などに参加しています。



筑後川・矢部川「ノーボイ運動」(久留米市)



有明海クリーンアップ作戦(柳川市)

交流事業

水源地域や流域の方々と、相互理解を深めるため、イベントや交流会などに参加しています。



蜂ノ巣湖(下笠ダム)桜まつり(日田市)



水をつなぐ流域交流 in 下戸河内(朝倉市)

筑後川流域市町村及び福岡都市圏の観光、イベント情報など

<https://www.fukuoka-tosiken.jp/fundbusiness/event/>

筑後川流域には、観光地や祭り、イベントなど四季折々の見所がたくさんあります。
ホームページの情報を見て出かけてみませんか。

福岡地区水道企業団

構成団体 6市7町1企業団1事務組合

福岡市・大野城市・筑紫野市・太宰府市・古賀市・糸島市・宇美町・志免町・須恵町・粕屋町・篠栗町・久山町・新宮町・春日那珂川水道企業団(春日市・那珂川市)・宗像地区事務組合(宗像市・福津市)

えっ 1
3 も!?

知って
ましたか？



「ビュータくん」

福岡都市圏の水道水の 約 3 分の 1 は 筑後川の水です

福岡都市圏の水道の 1 日平均給水量 (令和 2 年度)

への依存度
筑後川
3 分の 1

福岡都市圏の給水量

約 64 万 m³/日

福岡地区水道企業団分

約 24 万 m³/日

筑後川水系
約 23 万 m³/日

構成団体取水分 約 3 万 m³/日

筑後川水系 約 20 万 m³/日

その他の水源
(川、池など)
約 41 万 m³/日

鳴瀬ダム
五ヶ山ダム
海水淡水化
約 4 万 m³/日

私たちが暮らす福岡都市圏は水に関して
3つの大きな問題を抱えていました。



水源が
乏しい

近郊に必要な水量を供給する
大きな河川がなく、渇水が頻発。



水使用量の
増加

人口の増加や都市化の進展に
伴い、水の需要量が増加。



水源開発
コストの増大

水を確保するためにそれぞれの
市や町でダムなどをつくるとお金
がかかり、非効率。

1973 年 (昭和 48 年) に、水需要増加への対応と施設の共同設置のため、福岡都市圏
の市や町が協力して、水道用水供給事業を行う「福岡地区水道企業団」を設立。
1983 年 (昭和 58 年) に、筑後川からの導水が実現し、当企業団の福岡都市圏への
水道用水の供給を開始。

福岡都市圏は筑後川から大きな恵みを受けています

筑後川の水は、筑後大堰の貯水区域内 (久留米市) から取水し、福岡導水 (全長約 25 km) を使って、
福岡地区水道企業団牛頸浄水場 (大野城市) まで導水しています。
導水されてきた水は浄水場で浄水処理し、水道用水として福岡都市圏の構成団体の配水池まで送水しています。



福岡都市圏の 大渇水を救った筑後川

福岡都市圏は 1978 年 (昭和 53 年)、1994 年 (平成 6 年) に大渇水に見舞われ、市民生活などに重大な影響が生じました。1994 年の大渇水では筑後川からの導水がなければ、1978 年以上の深刻な事態になっていたと思われます。



筑後川の源流は、
熊本県の
瀬の本高原だよ!

大分県

くじゅう
連山

瀬の本高原

筑後川 (筑後大堰付近)

福岡導水の水管橋